

不祥事根絶のための行動計画

【不祥事根絶に向けた本校の決意】(行動基準)

私たちは、「未来に生きる人間を育成することを通して未来を創造する。」という崇高な使命を深く自覚し、そのことに責任を持ちます。

- 法令を遵守します。
- 不祥事を許しません。
- 地域に開かれた学校にします。

呉市立呉高等学校
作成責任者 校長 小田 浩

区分	本校の課題	行動目標	取組内容	点検方法・時期
教職員の規範意識の確立	○ 服務研修は、不祥事防止委員会を中心に企画・運営されているが当事者意識や想像力が十分醸成されていない。	○ 服務研修の方法や内容を、実際に起きうる問題と考え、ミスの起きた具体的手順に着目し実態に即した研修とする。	○ 不祥事防止委員会による服務研修の企画立案・実施・評価等を継続する。 ○ 学年会、分掌会、教科会等での研修を活性化する。	○ 研修ごとにアンケート調査を行う。
学校組織としての不祥事防止体制の確立	○ 自分の仕事に熱心に取り組む一方で他人の仕事へ目が向きにくい。 ○ 生徒対応や保護者対応に教員一人一人の温度差がある。	○ 教職員同士のコミュニケーションをさらに促進し、他人の仕事に関心を持ち、お互いにカバーしあえる体制の徹底を図る。 ○ 全教職員が不祥事防止に係る共通理解を図り、統一した対応を行う。	○ 学年会、分掌会等で互いの仕事の進捗状況や気になる点等を確認し、チームで取り組む体制を構築する。 ○ 管理職による主任等との面談を定期的実施する。 ○ 月ごとに不祥事防止に係る強化目標を設定し、相互点検・評価する。	○ 校務運営会議で進捗管理を行う。 ○ 毎月1回以上不祥事防止委員会を開き、情報交換を行い、状況を把握する。
相談体制の充実	○ 「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」について定期的に周知しているが、相談件数が少なく周知の徹底が求められる。 ○ 生徒の行動の背景にある思いに十分に目が向けられていない。	○ 「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」の周知のあり方を検討し徹底を図る。 ○ 生徒の細かな日常の変化に意識して目を向ける。	○ 校舎内すべての教室等に担当の教職員及び連絡先を明示したポスターを掲示する。学校だより等で保護者等への周知を徹底する。 ○ 様々な場面で一人一人が生徒に積極的に係わる。	○ 学期末に生徒、保護者及び本校教職員を対象にアンケートを実施する。 ○ 学期末懇談会等機会を捉えて生徒、保護者の意見、思いを把握する。